

■日時 令和元年8月15日(木) ■天候 曇り 東京都立八王子拓真高校 対 クラーク記念国際高校・横浜・通
 ■球場 府中市民球場 第1試合 3回戦 ■試合時間 1時間31分 ■備考 5回コールド
 ■審判 球審:ワン 塁審:須田 大和 谷川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5									計	安	失
クラーク横浜	神奈川	0	0	2	0	0									2	4	3
八王子拓真	東京1	4	1	9	2	×									16	13	2

クラーク横浜		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5						
1	捕		神山 竜輝	2	1	1	0	中安		四球		三振						
2	一	投	永田 知寛	3	1	1	0	右飛		右安		遊飛						
3	投	一	高見 晴良	3	0	0	1	二ゴ		二ゴ		三振						
4	左		齊藤 和希	2	0	0	0	三振		捕邪								
5	中		米澤 佳樹	2	0	1	0		三振	中安								
6	遊		工藤 真平	2	0	1	0		左安	左飛								
7	三		沖本 一輝	2	0	0	0		遊失			三振						
8	二		大野 由瑛	0	0	0	0		投犠									
8		打	古屋 愛斗	1	0	0	0					三ゴ						
9	右		葛西 健	2	0	0	0		一ゴ			三振						
合計				19	2	4	1	残塁:4 併殺:0										
備考																		

■バッテリー

投手
高見 晴良
永田 知寛

捕手
神山 竜輝

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
高見 晴良	2 0/3	19	8	1	4	9
永田 知寛	3	15	5	0	5	5

八王子拓真		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	3	3	4	5				
1	左		平山 奏斗	3	0	0	0	三振	二ゴ	四球		三ゴ						
2	二		小野 充輝	4	3	3	1	左安	右安	左安			一飛					
3	遊		内藤 龍之介	2	3	2	1	四球	右3	四球			左2					
4	捕		輿水 来輝夢	2	3	1	1	四球	一ゴ	四球			左2					
5	一		中村 秋介	3	2	1	2	三飛		死球	左安		遊飛					
6	右		鎌田 拓斗	3	2	3	5	左本		左安	右2							
6		打	廣瀬 慧	0	0	0	0						死球					
7	三		岩瀧 晃史	3	1	2	3	遊安		中本	死球		三ゴ					
8	中		市川 昭次郎	2	1	0	0	右飛		右失	死球							
9	投		伊勢崎 汰一	1	0	0	0		三ゴ									
9		打	松本 拓翔	1	0	1	1			中2								
9		走	渡邊 郁矢	1	1	0	0				二飛							
9		投	櫻田 和宏	0	0	0	0											
合計				25	16	13	14	残塁:6 併殺:0										
備考																		

■バッテリー

投手
伊勢崎 汰一
櫻田 和宏

捕手
輿水 来輝夢

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
伊勢崎 汰一	3	15	3	2	1	0
櫻田 和宏	2	6	0	4	0	0

■戦評

府中球場で行われた準々決勝第1試合は共に前日の2回戦をコールドで制した東京都立八王子拓真高校とクラーク記念国際高校・横浜・通信制の対戦となった。先攻のクラーク記念国際・横浜は初回先頭の神山が安打を放ち内野ゴロとバークで三進するも後続を断たれ無得点に終わる。その裏八王子拓真は安打と二つの四球で二死満塁から6番鎌田が左翼スタンドに突き刺さる満塁本塁打を放ち4点を先制する。続く2回には安打の走者を3番内藤が右中間適時三塁打で返し1点追加。3回表クラーク記念国際・横浜はこの回先頭神山が四球で出塁し2番永田の右前打を右翼手が後逸する間に一気に本塁を陥れ1点を返す。この間に三進していた永田は3番高見の内野ゴロで判断良く本塁を突きこの回2点を返し2-5と追いすが。3回裏八王子拓真は死球と安打の走者を7番岩瀧が左中間を深々と破る3点ランニング本塁打で返します3点。敵失の走者を代打の松本が中堅越え適時二塁打で返し1点追加。続く平山に四球を与えたところでクラーク記念国際・横浜は2番手永田にスイッチ。制球の定まらない永田から四つの四死球と3本の長短打を浴びせこの回打者15人で9点を奪い14-2とリードを広げる。続く4回裏にも2本の長打と敵失で2点を追加する。クラーク記念国際・横浜は4回から登板した八王子拓真2番手櫻田に三人ずつに打ち取られ万事休す。5回コールド16-2で八王子拓真が準決勝に進出した。クラーク記念国際・横浜は中盤の大量失点で最後まで響いてしまった。